

# ぶつかる、エースの意地

## 5年ぶり1部復帰

本学硬式野球部(首都大学野球連盟所属)は、4月6日から始まった春季2部リーグ戦を10勝2敗2分で、3季ぶり25度目の優勝を果たした。続く6月1日からの1部リーグ最下位、明治学院大との入替戦を制し、2003年秋以来、10季ぶりの1部リーグ昇格を決めた。2部リーグ最優秀選手賞に吉越選手が選ばれた。

### 硬式野球部

エース対決となった入替戦初戦。本学、小田が単打こそ許すものの、後続を断ち切り本塁を踏ませず5-0で完封勝利。勝てば昇格が決まる第2戦。先発の山口直弥英



入替戦第3戦の小田投手(スポーツ大東編集部提供)

雨で2日間延びて迎えた第3戦。1回表に明治学院大のタイムリーで1点を先制された、その裏の攻撃。3連投の明治学院大エース加藤から一死1、2塁のチャンスで4番、池端邦仁(教育4年、浜松商業高)のレフト前ヒットが同点打かと思われたが、明治学院大センター金森の好返球により本塁寸前タッチアウトになった。しかし続く5番、會澤太輔(社会経済3年、多賀高)の右中間へのヒットで2点を挙げ、3-1とする。

エース小田はその後、2回に1点を失うものの1点のリードを守り抜き、9回を3者連続三振で締め、1部昇格を勝ち取った。

ベストナインに小田哲朗投手(経営4年、学法石川高)、高橋良二塁手(中国語4年、作新学院高)、藤倉幸平三塁手(国際関係3年、浦和学院高)、前田太一遊撃手(ス

ポーツ科2年、春日部共栄高)、吉越佑太外野手(政治4年、浦和学院高)の5人が選ばれた。

2 意欲の高さが勝利につながる。秋リーグ戦に上がったことで、選手一人ひとりの危機感が例年以上に強く、1部昇格への意識の高さが勝利につながった。秋リーグ戦に上向けてはチーム全体の各プレーのスピードアップを目標に、チーム作りにつなごうと努めたい。

ポーツ科2年、春日部共栄高)、吉越佑太外野手(政治4年、浦和学院高)の5人が選ばれた。

2 意欲の高さが勝利につながる。秋リーグ戦に上向けたことで、選手一人ひとりの危機感が例年以上に強く、1部昇格への意識の高さが勝利につながる。秋リーグ戦に上向けたことで、チーム全体の各プレーのスピードアップを目標に、チーム作りにつなごうと努めたい。